

1000年先の未来へ。
美しい里、豊かな海



かがわ里海大学 2023

スタートアップ

里海体験ツアー(沙弥島)

開催しました！

- 日 時：令和5(2023)年12月17日(日) 10:00~13:30
- 会 場：坂出市沙弥島(万葉会館、ナカダ浜)
- 講 師：かがわ里海ガイド(メインガイド 安井 里香 氏、サブガイド 高橋 史 氏、幸池 麻美 氏)

◆実施内容

発見！体感！！沙弥島の新たな楽しみ方を見つけよう！をテーマに里海体験ツアーを開催し、13名の受講生が集まりました。

沙弥島で3種類のアクティビティを楽しむ

はじめに、安井氏からオリエンテーションで沙弥島は“島”と名前が付いているけれど陸続きになっている理由や歴史の中で製塩土器を使った塩づくりがされていたなど、島の概要を聞いた後、歩いてナカダ浜へ向かいました。

ナカダ浜では「磯の生き物観察」、お気に入りの風景を探す「インスタ映えスポット探し」「アート作品づくり用の漂着物探し」を行いました。

磯の生き物観察は、幸池氏から観察の方法や留意点の説明、お気に入りの生き物をひとり1匹見つけてもらうなどの説明があった後、岩に付いている生き物を見たり、ケースにとったりしながら観察を行いました。受講者は多種の貝類や海藻を見るだけでなく、ハゼの仲間を自分の手でつかまえたり、イソギンチャクに指で触れて吸い付く感覚を味わったりと積極的に楽しんでいました。

続いて、高橋氏からインスタ映えスポット探しの説明がありました。インスタ映えスポット探しは、厚紙で作ったフォトフレームを持ち「インスタ映えする」お気に入りの風景を見つけてもらい、島の魅力を掘り起こす内容です。お気に入りの風景を見つけた後は、その風景を受講生全員に紹介をして共有しました。

同じ海岸近くでありながら、人それぞれに注目する風景が違ったり、風景の感じ方が違ったりして多くの発見や気づきがあったように感じました。



沙弥島について説明



沙弥島を歩いて移動



磯の生き物観察



採取した生き物を確認



インスタ映えスポット探し



お気に入りの場所をみんなで共有

さらにナカンダ浜で、この後のアート作品づくりで使う材料の貝殻やビーチグラス、ロープや紐、プラスチックの破片などを拾いました。その後、万葉会館に戻り、この漂着物を使って水族館や海をテーマとした作品作りにチャレンジしました。

グループごとに思い思いに漂着物を組み合わせて、魚やヤドカリ、ウミガメや海藻などがつくられていました。最後に作成した作品にタイトルを付けて、全員の前で披露しながら説明と鑑賞をしました。

どの作品も海の中の様子がのびのびとつくられており、色々な種類の生き物が漂着物を組み合わせて作っているのに驚きながら、鑑賞を楽しみました。



漂着物の材料探し



漂着物で水族館をつくる



作品の披露

地元産、海の幸が入ったおにぎり弁当を味わう

3つのアクティビティを楽しんだ後は、地元産、海の幸がたっぷり入ったおにぎり弁当（海苔、野菜、卵や鶏肉など）を全員で味わいました。おにぎりの中に入っていた海苔の佃煮は、風味も味もよくて受講生からとても好評でした。



漂着物を使って水族館づくり



海の幸が入ったお弁当



集合写真

受講生からは「いろいろなご縁ができること、楽しい経験ができること。海を身近に感じる事がたくさんできてとても満足です」「子どもたちの水族館づくりの自由な発想にビックリした。とても面白い水族館を見させてもらって楽しかったです」などの意見がありました。